

(会告)

公益社団法人日本超音波医学会認定超音波検査士制度
第37回超音波検査士認定試験実施について

公益社団法人日本超音波医学会
理事長 椎名 毅
認定超音波検査士制度委員会
委員長 森 秀 明

公益社団法人日本超音波医学会は、第37回超音波検査士認定試験を下記の要領で実施いたします。ウェブサイトからオンライン申込みのみとなっておりますので、ご注意ください。超音波検査士認定試験の受験を希望の方は、以下の事項を熟読の上、お申込みください。

第37回超音波検査士認定試験実施要領

1. 試験日時	2022年11月27日(日)
2. 試験会場	東日本会場ーベルサール渋谷ガーデン ベルサール渋谷ファースト(東京都渋谷区) *1 西日本会場ー大阪国際会議場(大阪府大阪市)*1
3. 受験資格	以下の条件をすべて満たす者 1) 日本国の看護師、准看護師、臨床検査技師、診療放射線技師のいずれかの免許を有すること 2) 2019年9月1日以前に入会し、3年以上継続して、本会正会員、シニア会員、準会員(期間中にここに掲げる一つの資格からここに掲げる他の資格に種別変更があった場合を含む)のいずれか、または一般社団法人日本超音波検査学会の正会員であること*2,3 3) 本会認定超音波専門医または指導検査士(受験領域は消化器・泌尿器・産婦人科領域に限る)の1名による推薦が得られること
4. 対象領域	以下の臨床領域別に試験を行う*4 体表臓器・循環器・消化器・泌尿器・産婦人科・健診・血管
5. 受験様式	書類審査・筆記試験(臨床領域及び医用超音波の基礎)
6. オンライン申込	2022年5月16日(月)12:00~2022年7月8日(金)23:59 までに日本超音波医学会ウェブサイト内「超音波検査士認定試験オンライン申込」より必要事項を入力し、各様式をプリントアウトすること。 【重要】 ・「基礎免除証明書」保有者とは、第36回試験受験時に「基礎免除証明書」を利用せずに受験され合格された方になります。第36回試験受験時に「基礎免除証明書」を利用し受験された方には発行していません。 ・本会ウェブサイトをご覧ください。(http://www.jsom.or.jp/)
7. 申請書類送付期間	2022年6月1日(水)~2022年7月31日(日)<当日消印有効>までに「日本超音波医学会超音波検査士係」に申請書類一式を送ること。
8. 申請書類送付先	申請書類一式を作成し、下記あて先へ簡易書留またはレターパック(ライト及びプラス可)にて送付すること(普通郵便及び持参は不可)。 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水センタービル6F 公益社団法人日本超音波医学会 超音波検査士係
9. 受験料	本会会員20,000円(うち消費税額1,818円)/一般社団法人日本超音波検査学会会員22,000円(うち消費税額2,000円) 本会会員:1) 2022年5月31日時点で本会会員である者 2)2022年5月31日時点で入会手続きが完了している者 ※入会手続きが完了している者とは、2022年5月31日までに次の2事項の手続きが完了している者 1:入会申込み 2:入会金と年会費の支払い
10. 認定証の交付	認定試験に合格した者は、改めて認定料5,000円(うち消費税額454円)を添えて認定証交付申請をすること。

11. 超音波検査士の義務(資格保持)	<p> 11. 超音波検査士の義務(資格保持) 本会認定超音波検査士制度規則により、すべての超音波検査士は、認定を受けた年から5年を経る時に資格更新の認定を受けなければならない。 </p>
12. その他の事項	<p> 12. その他の事項 1) 本会が受験者に不正行為に該当する行為があったと判断した場合、受験資格停止などの処分を行うことがあります。 2) 申請書類は、個人情報保護の観点より適切に取扱い一定期間保管した後廃棄処理します。 3) 不明の点は本会超音波検査士係にメールにて問い合わせること(E-mail:soumu@jsum.or.jp)。 </p>

- *1 申し込み時に東日本会場または西日本会場のどちらかを選択し、登録していただきます。会場変更は受け付けません。
- *2 受験資格要件を「一般社団法人日本超音波検査学会の在籍としている」方は「在籍証明書」の添付が必要です。2019年9月1日以前に本会に入会し、受験申請時迄、本会に継続して在籍している方は「検査学会在籍証明書」の添付は不要です。
- *3 本会と一般社団法人日本超音波検査学会の合算で3年以上継続している会員でも受験は可能です。
- *4 同年度には、1領域しか受験できません。